

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 2000049570 A

(43) Date of publication of application: 18.02.00

(54) LINEAR PHASE FILTER CIRCUIT

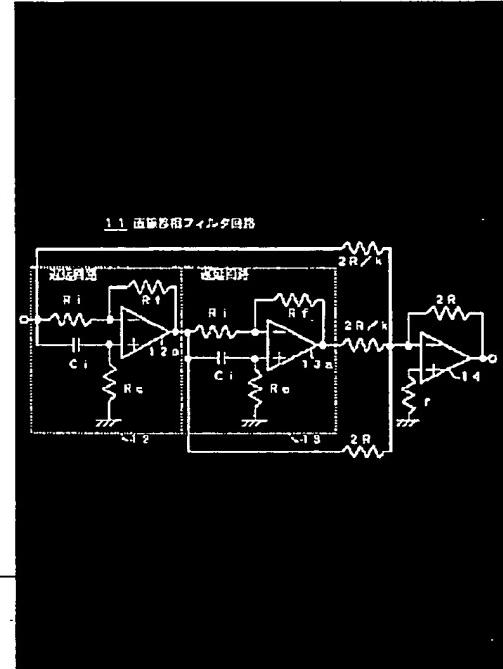
(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an inexpensive linear phase filter circuit by constituting delay circuits by means of a phase shift circuit using arithmetic amplifiers.

SOLUTION: The delay circuits 12 and 13 causing linear phase delay as against an input signal frequency inside a filter are constituted by the phase shift circuit including the arithmetic amplifiers 12a and 13a. Therefore, desired signal delay is attained by the phase advance of a signal in accordance with a signal frequency through the use of the phase shift circuit such as a whole band pass filter for passing the whole band signals by one gain.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

(51) Int. Cl

H03H 11/18**H03H 11/12****H04N 5/208****H04N 9/68**

(21) Application number: 10216706

(71) Applicant: NEC HOME ELECTRON LTD

(22) Date of filing: 31.07.98

(72) Inventor: YAMADA NOBUHIKO

(9) 日本国特許庁 (JP)	(12) 公開特許公報 (A)	(11) 特開2000-49570 (P2000-49570A)
		特開2000年2月18日(2000.2.18)
		平成12年2月18日(2000.2.18)
	P I	
H 0 3 H	11/18	A 5 C 0 2 1
H 0 3 H	11/12	D 5 C 0 6 6
H 0 4 N	5/208	5 J 0 9 8
H 0 6 B	9/68	1 0 3 Z
	1 0 3	

審査請求	審査請求の數2	O.L.	(全4頁)
1)出願説明書 2)小蝶日	令和平10-216706 平成10年7月31日(1998.7.31)	(71)出願人 日本電気ホームエレクトロニクス株式会社 大阪府大阪市中央区城見一丁目4番24号 山田 伸彦 (72)明細書 大阪府大阪市中央区城見一丁目4番24号 日本電気ホームエレクトロニクス株式会社 内	000001837

【翻訳請求の範囲】

- 【請求項 1】 遠近両回路が、もたらすもたらすも、前記近両回路が複数個存在する場合において、前記近両回路を構成する直線部相と、前記遠両回路を構成する直線部相とを接続する直線部相。
- 【請求項 2】 線列接続して、最終出力の加重値を有係数ことにより位相制御が可能となる直線部相。

近抵抗り、前輪反転入力端子	【発明の概要】
配反転入力端子に接続し、	【発明の属する技術分野】
反転入力端子を接地する接	前述回路により車両に構
線とする直線位相フィルタ	成する詳細な説明】
【発明の詳細な説明】	【0001】

が得られる。すなわち、こ
は、
 $|11(j\omega)| = |1 - 2$
 となる。

[0.0.4] この振幅特性は、
 ルタ回路 1 の減衰特性は、
 2π を要数とする余弦関
 数であり、コサインイ
 ンである。また、フィルタ
 にある。また、フィルタ
 り、位相の大きさを表す
 ら、その大きさは $\omega = \omega_0$
 きくなる。すなわち、直角
 がここにある。

[0.0.5] 1発明が解説しようとする
 は、一対の選択回路 2、3
 \rightarrow が非常に重要であり、從
 らなる L.C 回路か、或いは
 ン等を用いて選択回路 2、
 がら、L.C 回路は、選択特
 よって選択レベルが変動し
 のが少ないとといった観點が
 ンとしてクラス選択機能は、
 選択させるだけであるため
 時間の選択は留めず、また
 S/Nなどの性能が劣化し
 しているため、信号が機器
 する等の課題を抱えるもの

[0002] **[從來の技術]** 図2に示す直線位相フィルタ回路1は、位相特性が線形でないする遅延伝送が一定で、高域をもつる回路である。例えばビデオ信号等に輪郭強調を施す両面調整回路であり、例えばソーラインコロイド等による輪郭強調を施すものである。この直線位相フィルタ回路1は、端部等に引かれる。この直線位相フィルタ回路1は、3の切替部入力と複数出力端子を有する。列挙算出された一对の遅延回路2、3の切替部入力と複数出力を加算器4において加算し、この加算器4の出力Aを係數調整器5において係數(k)倍した後、減算器6において加算出力から減算する構成である。

ある。したがって、 $s = j\omega$ と置いて整理すると、

なる伝達関数を有する。ただし、 s はラプラス前算子である。

$F(s) = \frac{(-k + e^{-s} - k e^{-2s})}{(-k e^{-s} + 1 - k e^{-s})}$

$= e^{-s} [1 - k (e^{-s} + e^{-2s})]$

のとく変形でき、風速駿頭観における振幅特性を求めたため、 $s = j\omega$ とした直線関係と、

